

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	職員数が限られており、一人一人の利用者の希望に沿った日常的な外出支援が行えていない。	利用者一人一人の希望や体調を考慮しながら、施設の中に留まることなく近隣や住み慣れた地域に気軽に外出することが出来る。	外出支援には職員数の確保が必要なため、本部の協力を得ながら人員を増員して、個別に外出支援を行える体制を整える。外食や買い物、名所観光など外出しなければ体験できない特別な時間を優先的に作るよう工夫していく。	3ヶ月
2	35	想定外の自然災害に対して、具体的な避難方法や連絡体制が確立されておらず、短時間で利用者の安全を確保する方法が定まっていない。	避難する際に想定される問題点を把握し、本部や地域の協力を得ながら、災害発生時に適切な避難行動を職員全員が取れるようになる。	夜間想定外の避難訓練や他施設への避難といった通常とは異なる状況を見越した訓練を消防署立会いの下実施する。緊急時の連絡網や駆け付けられる職員の確保、備蓄品や防災頭巾の準備を行う。	3ヶ月
3	11	職員の介護力を向上させる機会が少なく、月1回のケア会議で情報の共有は行っているが、実際の現場での接遇スキルや業務への意欲に差がある。	認知症ケアの基本を職員全員が正しく理解して、自分本位でない利用者本位のケアを自然と行えるようになる。	職場内外の研修に積極的に職員を参加させそこで得た知識や技術を、自主的に職員がフィードバックしていけるようにする。業務や居室の担当を決めて職員一人一人に責任を持たせ、チームでケアする事を意識させていく。	6ヶ月
4	40	利用者がどのような食事や食べており、職員がどのような工夫やアイデアを献立に盛り込んでいるかをご家族が知る機会がない。	生活の中で大きな楽しみである食事を、どのような雰囲気や具体的にどんな食事を食べているのかを定期的にご家族が知ることが出来る。	毎月送付しているご家族へのあいさつ文で、食事を召し上がっている利用者様の写真、周りの方々の雰囲気、盛り付けの例などをお知らせして具体的にイメージが湧くようにしていく。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。